

会員アンケート報告 — 住み替えニーズ調査 —

「老後をどこでどのように暮らすのか」。この15年シニアライフ情報センターは皆さんと一緒に考えてきました。そのために数年に1回、会員さんの協力を得て、実情や住まい方に対する希望をアンケートによって伺ってまいりました。それは一重に、私たちが老後を安心して暮らせる社会に向けて、皆様のメッセージを行政や業界に届けていくためです。今回で4回目の調査となりましたが、その結果がまとまりましたので、抜粋して報告します。

調査対象：賛助会員及び団体会員全員 1133名

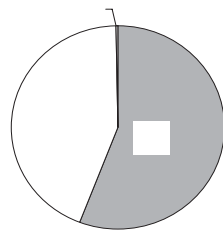
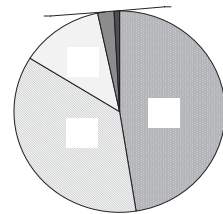
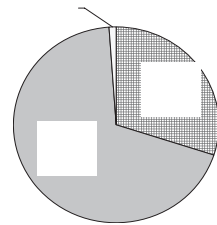
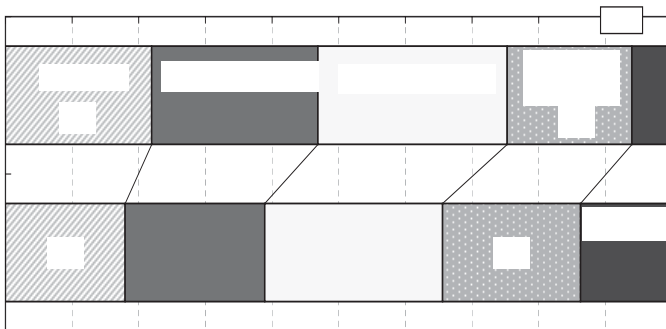
回収：401名（回収率35.4%）

調査時期：平成18年6月

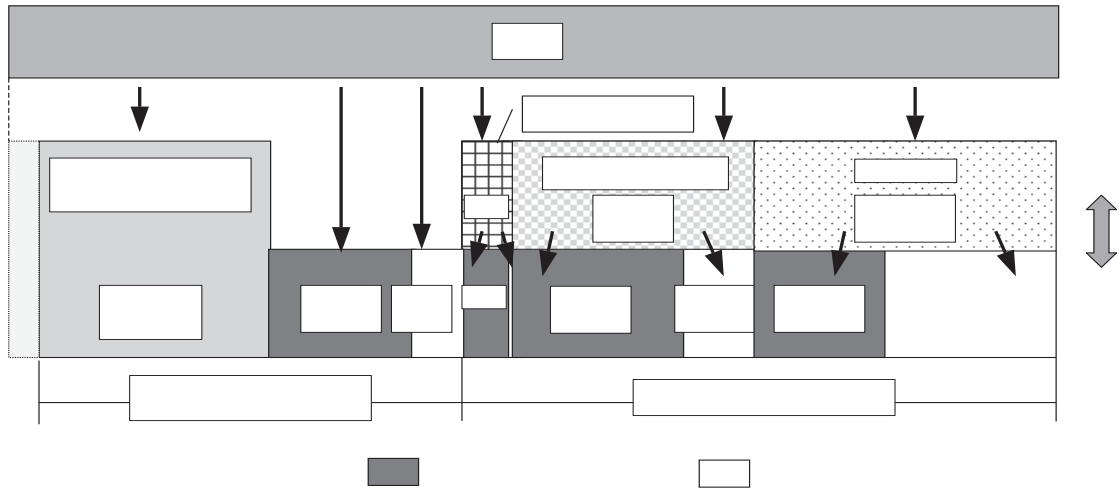
回答者プロフィール

アンケートの回答者は401名。男女比は7：3。居住地は関東（東京・千葉・埼玉・神奈川）が全体の8割を占める。年齢は、平均年齢71歳、65歳から74歳の前期高齢者が5割、75歳以上の後期高齢者が4割弱。家族形態は単身世帯が5割、夫婦世帯が4割弱。

現在の住まいは、戸建持家が5割弱、分譲マンションが2.5割、賃貸住宅が2割、高齢者向けの住まいが1割弱。子どもがいる方が5割程度。住み替えの対象は本人が6割で、夫婦で住み替えるのは3割。住み替える本人の健康状態はおおよそ8割が健康。年収は単身世帯では「200万円以上300万円未満」が約5割を占めるのに対して、夫婦では、5割程度が年収400万円以上の世帯。



グラフ1 住み替え計画



1

すすむ！住み替えの二極化